

タレント発掘育成事業における食育の取り組み ～ジュニアアスリート育成の現状報告～

昨年4月に着任された食品栄養学科の丹野久美子先生に、前任校(仙台大学)でのジュニアアスリート育成活動をご紹介いただきました(2014年2月19日10:30-11:30 K201教室)。

JOCが支援し、10年前から福岡で始まった、才能・素質を持った人を広く発掘・育成することで、国際競技力向上をねらう事業です。

丹野先生は北海道の美深町、秋田、山形で事業にかかわられたそうです。

心理、栄養、色々な職域の人が連携し、選手の知的能力の育成プログラムの中で、まずは子ども達に「好き嫌いなくたくさん食べる」ことからはいったそうです。

知的能力開発プログラムは、Human Skill コミュニケーション能力の大切さを学ぶ、Conceptual Skill スポーツを楽しむ能力を育てる価値を知る、Management Skill 自分をコントロールする能力を育てることが目標で、ティーチング(教える)ではなくコーチング(導き出す)で、子どもが判断する力をつけさせるそうです。

親子料理教室を行ったり、ゲームをしながらコミュニケーション力をつけ栄養の勉強もする方法などをお話いただきました。



タレント発掘育成事業(TID)とは

「才能」「素質」(Talent)を持った人物を
「識別」(Identification)して
「育成」(Development)すること

出典:JISS-JOCネットワーク・タレント発掘プロジェクト&地域ネットワークプロジェクト, 2002

食育プログラムの内容

栄養・食に関する知識の構築

- ・栄養素
- ・運動と栄養の関係

マネジメント(自己管理)

- ・食事をとるタイミングや量

実践力を高める

- ・マナー
- ・調理技術
- ・楽しく食べる

